

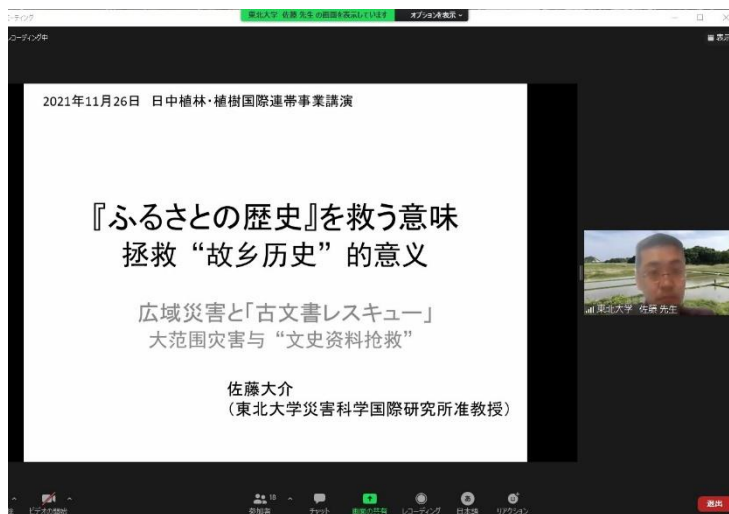
2021 年度中国大学生オンライン交流事業で講義を行いました（2021/11/26）

テーマ：東日本大震災、歴史資料保全

場 所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）・オンライン

外務省が推進する「日中植林・植樹国際連帯事業」の一環として、2021年11月26日（金）14:30～14:55、宮城県と吉林省をむすぶ2021年度中国大学生オンライン交流事業が実施されました。本事業において当研究所の佐藤大介准教授（歴史文化遺産保全学分野）が講義を行い、中国側からは吉林外国語大学の学生さんが参加されました。

佐藤准教授は、『ふるさとの歴史』を救う意味：広域災害と『古文書レスキュー』と題して講義を行い、日本に残された古文書とその危機、東日本大震災での古文書レスキュー、なぜ古文書を救出するのかの意義を説明しました。講義では、地域社会に推計20億点もの古文書が残され、史料ネットの活動により保全・レスキュー活動が行われてきたこと、古文書から歴史災害の実相が読み解けることがあること、史料レスキューが心理社会的支援にもなること等も述べました。講義は中国語へ同時通訳されました。



オンライン講義の様子



文責：災害科学国際研究所広報室